

議長	副議長	局長	書記	書記
[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]

(様式 2)

香美市議会議長 山本 芳男 様



令和6年 3月 29日

会派名 日本共産党  
代表者氏名 笹岡 優



### 調査研究等報告書

下記のとおり実施しましたので届け出ます。

#### 記

1. 日程

- 令和6年3月22日（金）13時～17時

2. 場所

- かみーる つながるーむ1

3. 目的

- コミュニティFMの活用事例を学ぶ

4. 該当する政務活動費の使途項目

- 研修費

5. 支出経費（内訳は裏面記載）

- 94,880円

6. 参加議員名

- 笹岡優 ・ 濱田百合子 ・ 西山潤 ・ 山崎龍太郎 ・ 森田雄介

7. 調査研究成果の概要、所見

- 別紙添付

8. 成果物、資料等

- 資料添付

9. 特記事項

(裏面)  
支出経費の内訳と金額

		区分	金額
交通費	鉄道	自至	
	船	自至	
	航空	自至	
	バス・ タクシ一代	自至	
	借上料	自至	
宿泊費			
参加費			
駐車場代			
資料印刷費			
会場費	かみーる つながるーむ1 (5時間)		3,960円
講師謝金	謝礼金		55,000円
	鉄道	自至 新山口駅 高知駅	往復 27,920円
	船	自至	往復
	航空	自至	往復
	バス・ タクシ一代	自至	往復
	宿泊		8,000円
	食事代		
	借上料		
合計			94,880円
(特記事項)			

香美市議会議長 山本 芳男 様

2025.3.29

日本共産党香美市議団 代表 笹岡 優

### 研修・調査報告書

1、『成功するコミュニティFM放送局のノウハウを聞く!』として、開局以来12年間連続黒字経営の山口県宇部市の『FM きらら』井上 悟代表取締役よりの講演を聴いた。

○開催日 2024年3月22日(金)午後3時から5時

○開催場所 香美市立図書館かみーる(つながるーむ)

○講演者 井上 悟 株式会社エフエムきらら代表取締役

協力者 鳴沢理恵子合同会社コミュニケーションメディア開発推進機構

○参加者 依光晃一郎市長、村上真祥副市長、香美市議会議員、南国市議会議員、行政関係者から香美市、南国市、香南市に住む関心のある方々、総勢23人の参加で開かれた。

○笹岡の司会で始まり、井上社長から時と場所を選ばない地震、津波、豪雨など自然災害の驚異、今回の能登半島地震の現状からや少し認知症がある母親の行動に、地域で即対応できる情報ネットワークがあつたらどう対応できるのだろうとの問い合わせから始まった。

しかし、今更ラジオ? 阪神大震災をうけ、コミュニティFM放送局として開局した「FMひらかた」が閉局したことによる「ひらかたショック」。その最大の教訓は、防災メディアと位置付けたことによる失敗だった。

首都圏ラジオの個人聴取率は、0.7~0.5%(2022年)と苦戦している。

そもそもコミュニティFM放送とは?

『民間の放送事業者がひとつの市町村の一部区域における需要に応えるため

に行う FM 放送であり、その地域に密着した情報を提供することを通じて、当該地域の振興その他の公共の福祉の増進に寄与することを目的とする』(平成 4 年 1 月に制度化)

① 『まちを元氣にする』がコミュニティ FM 放送局のコンセプト(理念)

※まちが元氣を失う理由? ⇒ コミュニケーションの不成立

◎確かに、以前は農業等一次産業中心の地域社会で「結」など地域が協力し合い、神祭、盆踊り、おきやくなど地域での交流や情報が伝わっていた。コミュニケーションが成立していたから元氣だった。

② これまでのラジオ局とコミュニティ放送局は、コンセプトが異なる点をしつかり認識することが大事だ。

◎都市部、中央の情報をベースに流すため、テレビを見ても、インターネットでも同じ内容が流れてくる。特に今では「大谷選手通訳の賭博問題」から全国の事故や火事など、香美市に生活している者にとって直接、いま必要でない情報が毎日、これでもかこれでもかと流されてくる。特に暗い話題を流されると気分的には面白くない。

それが、地域の話題だったらどうだろう! 「鏡野公園の陽光さくらが満開です」や「バリューでバーゲンセールやっています」から「飼い犬が迷子に」「サギの電話がかかってきます」や「交通事故です。迂回して下さい」など身近で役に立つ、リアリティのある情報が届いたらどうだろうか!

③ コミュニティ放送局は『新しいメディア』との捉え方が大事。

地域情報に限定するエリアマーケティングメディアである点を基本に、支えてくれるリスナーを創造し、開拓し、ネットワークを広げていくこと。

◎日常を放送し、支えてくれるリスナーとのコミュニケーションが成立していったらパワーになって行くと思った。また香美市にある店など事業者が、チラシ等を新聞等に折込むより、双方向で交流でき相乗効果が生れる気がしてきた。

④ すべて『生放送』で、リアルタイムで発信する。パーソナリティは、地元の歴史や文化が解る地域スタッフを基本に構成する。

◎リスナーとのやり取りやスポンサーとの対応でもテンポよく対話が弾むことが大事と思った。「私が学生の頃、えびす街にえびすや食堂があったでねー」などの話題に「えっ商店街の」「そうそう、いま東本町の呉服店あたりかな」など、即キャッチボールできるスタッフが必要と感じた。

⑤ 安い放送料金が必要で、機材、放送局家賃など可能な限り、初期の投資を抑えて、加盟店 100 店舗・事業体のコマーシャル {20 秒×20 回×500 円=1 万円/月}。また、企画持ち込みも安価な料金にする。

◎初期投資について、株主を募り確保すれば、運営費の中心は人件費であり、登録加盟店が増えれば回ることができると思った。

例えば、1 万円×100 店舗・事業体=100 万円（3 人の人件費と家賃等）

⑥『嘘をつかない』—ネット社会はフェイク社会、AI が簡単に画像、音声をつくり出す社会、何が信実か解りづらい社会になっている。まして、災害時の報道は「信頼」がないと「オオカミ少年」になってしまう。

◎完全生放送で地元密着型の放送は「ウソをつけない」。ウソをついてしまったら放送局の信頼を失墜させ、存亡の危機に直面する。「そく避難して下さい」「身を守る行動を」など瞬時の情報を提供することによって、助かる命がある。また、災害後に被災者を「勇気づける」情報から必要な情報を伝えることのできるコミュニケーションツールだと思った。

宇部市では、計画的に市民に携帯用のラジオを提供しているとの事。

⑦ 地域の紙ベースの情報誌的な媒体を発行し、メディアミックスを図る。

◎登録した店舗や事業体情報からイベント、取り組みなどの情報誌などがあれば、耳から入る情報と冊子 {市広報含め} の情報をミックスして行動を促す力になるかもと感じた。

## **2、2024年1月に開局した四国唯一のコミュニティ FM 放送局『FM はたらんど』を調査した。**

○1月 24 日に四万十市の『FM はたらんど』を訪問し、久野秀明社長とスタッフから取り組みについて説明を受ける。

○現在の登録店舗・事業体は、74団体でスタートした。いま四万十市と黒潮町に発信しているが、三原村へのエリア拡大が決まり、幡多地域全体に広がる可能性が出てきている。

### **3. 参加者からの感想として**

- こんな放送があったら楽しいかも。
- 動き出したら面白いかなあと。
- ノウハウに熟知した人材が必要かなと。
- 四万十市の調査と近隣3市の共同開局も視野に入れたらと思った。
- 地域おこし協力隊の活用から地域の住民力が発揮できる場になるのでは。
- 地域の情報がすぐに入手できることでの防災力向上につながる。
- まちを元気にするツールと確信した。
- 香南市議から「参加できなくて申し訳ない」との連絡があり、ぜひ研究したいとの意見が寄せられた。

注:文中の○部分は、香美市議団としての感想含めた見解。

# コミュニティ放送局とは？

## I. 令和6年 能登半島地震

### 1. 時と場所を選ばない

■コミュニティ放送局は、防災メディア？

## II. 今更ラジオ？

### 1. ひらかたショック

### 2. 首都圏ラジオ個人聴取率 (2022)

TOKYO FM 0.7 ニッポン放送・J WAVE 0.6 TBS ラジオ 0.5

### 3. ラジオ放送開始

1925年（大正14年）3月22日午前9時30分に、日本初のラジオ放送が社団法人東京放送局（JOAK：現NHK東京放送局）によって発信された。

■ラジオ放送の CONCEPT は？ 娯楽

① 家庭が娯楽の殿堂になる（後藤新平）

- ・短波ラジオ 1954年（昭和29年）
- ・超短波ラジオFM 1970年（昭和45年）

② 娯楽メディアの変遷

### 5. 放送メディアの進化

- ・地上波テレビ 1953年
- ・BS放送 1987年
- ・CS放送 1992年
- ・インターネットTV&インターネット

### 4. コミュニティFM放送局

コミュニティFM放送は、民間の放送事業者がひとつの市町村の一部区域における需要に応えるために行うFM放送であり、その地域に密着した情報を提供することを通じて、当該地域の振興その他の公共の福祉の増進に寄与することを目的として、平成4年1月に「コミュニティ放送制度」として、制度化されたものです。

## ■ コミュニティ放送局の CONCEPT まちを元気にする

まちが元気を失う理由は？  
・コミュニケーションの不成立

5. これまでのラジオ局とコミュニティ放送局は、CONCEPT が異なる

6. 人の権で相撲を取らない  
　　コミュニケーション放送局は NEW メディア  
　　・リスナーを創造する

7. 全国放送局も県域放送局もコミュニティ放送局も商業放送局だが、  
同じではない

### III. コミュニティ放送局の運営

1. 地域情報に限定する  
　　・エリアマーケティングメディア
2. 地域スタッフの採用
3. リアルタイムに発信する（すべて生放送）  
　　・日常を放送する  
　　・24時間放送の疑問
4. 安価な放送料
5. 嘘をつかない
6. メディアミックス

## ■著者プロフィール

### 井上 悟 1951年8月1日

株式会社エフエムきらら 代表取締役  
合同会社コミュニティメディア開発推進機構 代表社員

福岡市の広告会社を経て、マーケティングコンサルティング会社 株式会社戦略会議設立。80年代、CI戦略が企業戦略の中心的テーマとなった時代に、大企業の億単位の予算のCI戦略とは異なる、中小企業のCI戦略を構築。数多くの金融機関、メーカー、小売流通、旅行代理店などのCI、VIを展開。

西日本銀行(現西日本シティ銀行)系のコンサルティング会社のコンサルタントとしても複数社の企業戦略を展開。

また、92年をピークに18歳人口が減少する危機に対しての、高等教育機関の生き残り戦略、SI(スクールアイデンティティ)CI(カレッジアイデンティティ)を複数の大学、短大、専門学校で展開。教育機関における「CF(未来創造)戦略」を構築。

また、健康食品の単品での30分TV番組を全国展開。健康食品のテレビショッピングの基本戦略を構築した。

JAPAN EXPO YAMAGUCHI 2001山口きらら博では、イベントFM放送局「FMきらら」を企画、提案、運営。

翌年、宇部市にコミュニティ放送局「FMきらら」を開局。地方都市におけるエリアマーケティングを実践している。その一環として、宇部市のBRAND戦略を企画・展開した。

## ■著書

「専門学校未来創造戦略」(海鳥社)

成功するコミュニティFM放送局(東洋図書出版)

「地域」をブランド化する—山口県宇部市、私たちの取り組み—(東洋図書出版)

成功するコミュニティFM放送局II—改訂版(東洋図書出版)

コミュニティFM放送局を開局して失敗する前に読む本(東洋図書出版)

コミュニティ放送局の未来(東洋図書出版)

# いまコミュニティFM放送が新しい

まちを元気にするメディアなのか・?

防災メディアなのか!?

開局以来11期連続黒字経営の山口県宇部市

『FM きらら』の井上悟代表取締役に

成功するコミュニティFM放送局

の「カハカ」を聞く!

3月22日(金)午後3時から5時

市立図書館 「かみーる」(つながる-む)

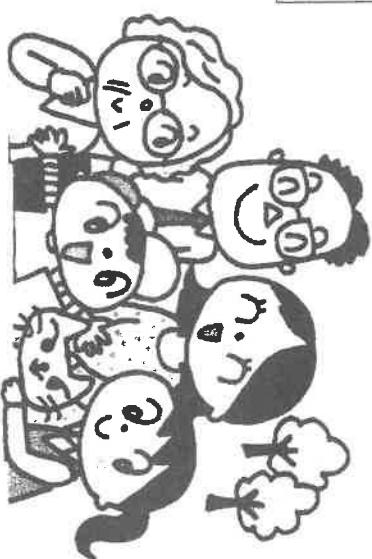
参加費 無料

主催:日本共産党香美市会議員団 連絡先 090-5141-4367 鈴岡

■著者プロフィール  
井上 悟 1951年8月1日

株式会社エフエムきらら 代表取締役  
合同会社コミュニティメディア開発推進機構 代表社員

福岡市の広告会社を経て、マーケティングコンサルティング会社 株式会社戦略会議設立。80年代、CI戦略が企業戦略の中心的テーマとなつた時代に、大企業の億単位の予算のCI戦略とは異なる、中小企業のCI戦略を構築。数多くの金融機関、メーカー、小売流通、旅行代理店などのCI、VIを展開。西日本銀行(現西日本シティ銀行)系のコンサルティング会社のコンサルタントとしても複数社の企業戦略を展開。  
また、92年をピークに18歳人口が減少する危機に対しての、高等教育機関の生き残り戦略 SI(スクールアイデンティティ)CI(カラーリング)AI(インテイテイ)を複数の大手、短大、専門学校で展開。教育機関におけるCI(未来創造戦略)を構築。  
また、健康食品の単品での30分TV番組を全国展開。健康食品のテレビショッピングの基本戦略を構築した。  
JAPAN EXPO YAMAGUCHI 2001山口きら博では、イベントFM放送局「FMきらら」を企画、運営、運営。  
翌年、宇部市にコミュニティ放送局「FMきらら」を開局。地方都市におけるエリアマーケティングを実践している。その一環として、宇部市のBRAND戦略を企画・展開した。



■著書

「専門学校未来創造戦略」(海鳥社)  
「成功するコミュニティFM放送局(東洋図書出版)  
「地域」をブランド化する—山口県宇部市、私たちの取り組み—(東洋図書出版)  
成功するコミュニティFM放送局II—改訂版(東洋図書出版)  
コミュニティ放送局を開局して失敗する前に読む本(東洋図書出版)  
コミュニティ放送局の未来(東洋図書出版)

# 領 収 証

令和6年3月22日

笛岡市役所

御中

合同会社コミュニティ  
開発推進機構

代表社員

宇都市新天町1-2-38

TEL 0836-32-6420

FAX 0836-37-1312

T2290003001502

講演会料

¥ 90,920円（消費税込）

内 容	単 位	金 額
1. 交通費 新山口駅から高知駅		27,920
2. 宿泊費		8,000
3. 講演料		55,000
	合計	90,920



伝票No : 46941

1-0046941

図書館

## 納入通知書兼領収書

納 入 義 務 者 名 氏	日本共産党香美市議会議員団 様		款 項	14. 使用料及び手数料	
第 号	令和 5年度	一般	目	1. 使用料	
金 額	(10%対象) 3,960円		節	8. 教育使用料	
内、消費税相当額	360円		説明	14. 図書館使用料	
納付目的	令和6年3月22日 つながるーむ1 使用料			説明	4. 図書館使用料
納入期限	令和 6年 3月 22日	上記の金額を当市指定金融機関等に納付してください。	領 収 印		
香美市指定金融機関 香美市収納代理金融機関		令和 年 月 日			
香美市長 依光 晃一郎					

※この領収書は、大切に保管して下さい。

登録番号 : T8000020392120

(納入者保管)